

2017年度学校教育計画表

部署	重点目標(計画)	具体的方策(計画)
SS大学進学コース	生徒一人ひとりの学力の伸長、及び希望進路の実現	生徒一人ひとりの学力を把握し、教職員が共有する
		個々の学習習慣(家庭学習)を定着させる(1年)
		実態に即しながらも高い意識を持たせ、きめ細かい指導により、それぞれ第1志望校の現役合格をめざす(3年)
		「総合的な学習の時間」、「大学見学」等を通じ、進学意識を高め、目標を明確にさせる 「寺子屋学習」および「スタディサプリ」等の活用により、個々の学力の伸長を目指す 新テストに向けての検討を行っていく
総合進学コース	学力の充実と社会適応力の育成	キャリア教育によって、個々の生徒に適応した望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせる。また、生徒それぞれが創造的・創作的にテーマに取り組みプレゼンテーションを行い、ディスカッションを重ねることで、実践的な自己表現能力とコミュニケーション能力を磨く。
		系統別のカリキュラムでは、授業による知識の定着と、現場での実習による実践力をバランス良く習得し、生徒の進路実現の推進力とする。
		新テスト導入を見据え、一般教科中心に学力の伸長を目指し、従来の推薦入試およびAO入試のみでなく、一般入試でチャレンジできる生徒を育成する。前述の一般入試に対応できる学力習得を目指しながらも、2年次の小論文素材研究、3年次の国語表現、小論文模試などを活用し、AO・推薦入試に必要なスキルを早い段階から身につける。
		部活動・生徒会活動など課外活動への積極的な取り組みを促し、そこで様々な体験をすることで、これからの社会を運営する構成員として、自立した1人の人間として生きていくための総合的な力としての「人間力」の育成に努める。
美術工芸コース	希望進路の実現	キャリア教育を踏まえ、進路実現のため、適切な支援を行う 専門実習の充実と共に学力向上、美大入試科目の充実を図る アートセンター(美大予備校)及び美術大学との連携
	生徒の心身の充実	教員間の密接な連絡による適切な生徒相談を行う 美術・工芸を通じた生徒の向上意欲の増進、成長を図る。
	生徒作品の充実	公募展に積極的に挑戦したり、更なる美工展の充実を図る 様々な機会を設け、生徒達により多くの優れた美術・工芸作品に触れさせるよう努める
	生徒募集活動の活性化	美大進学—就職を意識した、募集活動の検討、実施 美術大学と連携して中学生に対するキャリア教育の検討
スポーツサイエンスコース	競技力・競技実績の向上	競技ごとに目標設定をし、目標達成に向けた指導計画に基づいた段階的な指導を行う。 生徒個々の特徴をより引き出せるような指導法を日々探究する。 学校内における様々な機関と連携を取り、各部に合った柔軟な指導体制を確立する。
	学力向上・人間形成	各々の習熟度に合わせ、基礎学力の定着から上位層のさらなる学力向上を目指す。 自立した生徒を育成し、コミュニケーション能力の向上と集団の中でリーダーになれる人材を育成する。
	希望進路の実現	競技力・競技実績の向上と、学力向上・人間形成を両立させることで希望進路を実現させる。 生徒に適した進路選択を考えさせ、実現に向けた支援を担任と連携を取りながら行っていく。 進路開拓の為に大学訪問を積極的に行う。
食物科	高いプロ意識を持ち、食生活の向上及び食文化の創造に貢献できる調理師の育成と、希望進路の実現	指導の工夫や補講等で、知識・技術のよりいっそうの定着を図る 他校の実践も参考にしながら授業を構築していく
		各学年における課題研究の目標を明確にし、3年次の卒業記念作品展に繋がる指導体制を整える 卒業記念作品展については内容の検討を行う 土曜授業、特別授業、高校生レストラン及び各種コンテスト等への取り組みを通して、自ら考え行動する力、コミュニケーション能力、協調性、創造する力を育む きめ細やかな指導により早い段階から目標を持たせ、希望する進路の実現を目指す
1学年	社会から必要とされ、自分で考えて行動し、人のために行動できる人材になるための基礎固め	高校生としての基本的な生活習慣を確立させる。 学習習慣を身につけさせ、基礎学力の定着を図る。 自主・自立の精神を持った生徒を育成する。 他者への思いやりの意識をもたせる。 将来の進路について意識させる。
		高校生としての基本的な生活習慣を確立させる 基礎学力の定着に加え、様々な分野に関する思考力を高める 自主・自立の精神を持った生徒を育成する 自己はもちろんのこと、他者への思いやりの意識を持たせる 将来の進路について意識を向上させ、実現のための行動をさせる 沖縄研修旅行を通して、平和に関して意識させ、考えさせる 新選挙法施行に伴い、18歳選挙権に対応できるように主権者教育を行う
2学年	社会から必要とされ、自分で考えて行動し、人のために行動できる人材への発展	基礎学力の定着に加え、様々な分野に関する思考力を高める 自主・自立の精神を持った生徒を育成する 自己はもちろんのこと、他者への思いやりの意識を持たせる 将来の進路について意識を向上させ、実現のための行動をさせる 沖縄研修旅行を通して、平和に関して意識させ、考えさせる 新選挙法施行に伴い、18歳選挙権に対応できるように主権者教育を行う
		基礎学力の定着に加え、様々な分野に関する思考力を高める 自主・自立の精神を持った生徒を育成する 自己はもちろんのこと、他者への思いやりの意識を持たせる 希望進路を実現させる
3学年	社会から必要とされ、自分で考えて行動し、人のために行動できる人材の完成	基礎学力の定着に加え、様々な分野に関する思考力を高める 自主・自立の精神を持った生徒を育成する 自己はもちろんのこと、他者への思いやりの意識を持たせる 希望進路を実現させる
		生徒だけでなく教職員の意識も向上するように働きかけをする 日常生活における活動や取り組みを数多くするように提案等していく 東日本大震災の復興支援やインターアクトクラブなど、学校外に対する活動を充実させる 生徒の自主性や主体性が発揮されるような文化祭になるよう助言をし、生徒たちが達成感を得られるような文化祭にする 充実した課外活動になるよう、様々な面におけるサポート体制を構築し、さらに発展させる
生徒会指導部	生徒会活動の充実	生徒だけでなく教職員の意識も向上するように働きかけをする 日常生活における活動や取り組みを数多くするように提案等していく 東日本大震災の復興支援やインターアクトクラブなど、学校外に対する活動を充実させる
	文化祭の成功	生徒の自主性や主体性が発揮されるような文化祭になるよう助言をし、生徒たちが達成感を得られるような文化祭にする
	課外活動の充実	充実した課外活動になるよう、様々な面におけるサポート体制を構築し、さらに発展させる
	学校目標に則った生徒の育成	いじめや差別がない学校作り、ならびに早期発見と早期解決(生活相談と連携) 悩みを抱えている生徒への配慮、ならびに相談体制の充実(生活相談・特別支援と連携)
	先生方の実効性ある指導が奏効するための下支えとなる基本的生活習慣の定着	学力向上・部活指導・進路指導が効率的に指導されるための生活指導 教職員側が足並みを揃え、生徒にとって納得が得られる指導方法の構築
	現代的で喫緊の課題に対する予防指導の充実	男女交際に関する教育ならびに性教育の充実 情報通信端末類ならびにネット(SNS・ブログなど)の使い方に関する指導の充実
生活指導部	問題行動に対する適切な指導と迅速な対応	学年会との連携による有機的な指導の検討 懸念や指摘(被害や苦情)に対する迅速な対応ならびに周知徹底
	盗難防止、ならびに交通安全と交通マナーの徹底	校内での盗難の抑止 自転車による事故の防止、ならびに公共交通機関を利用する際のマナーアップ(交通安全)
	生活指導方針の周知・徹底	在校生と保護者への積極的な情報提供 受験予定者と保護者への積極的な情報提供

2017年度学校教育計画表

部署	重点目標(計画)	具体的方策(計画)
進路指導部	適正な自己認識と進路選択を促しつつ、各生徒の第1志望校への合格と就職未決定者ゼロの実現	適切な情報誌の配布、有効資料の提示、さらに資料の整理
		学年集会や進路通信などによる啓蒙と伝達
		学年ごとのカウンセリングや、説明会の実施
		自己理解や基礎学力の定着を促す検査や検定の実施
教務部	他部署との連携を図る	面接や小論文指導を通じて高校生として、あるいは社会人としてのマナーの定着を図る
		文書・選択表等を期日を決め確実に集める
	来年度カリキュラムと新課程カリキュラムの完成	授業変更・自習監督の円滑化
		学科コース主任会との連携
	学力向上を目指す	各教科との連携
	成績処理の円滑な運用	特別授業の充実・新テストへの対応
	憲法人権平和教育	担任が把握しやすい処理の流れを構築する。
	行事企画の円滑な運営	憲法施行70周年を迎え、主権者として憲法改正について考えさせたい。
2ヶ月前連絡の徹底		
適正な定員確保のための入試	ミスをなくす	
	反省の集積	
間違いのない教科書選択	基準の見直し	
	入試内容の検討	
図書視聴覚部	視聴覚教材の授業への活用	各教科・教科主任との連携
		円滑な教科書販売ができるような支援
	図書館利用の活発化	視聴覚教材を活用して生徒の理解をより深められるように、視聴覚教材の充実と利用を促進する。また、教員がスムーズに機材を操作できるように環境を整える。
	読書活動の推進	カード化を進める。利用しやすい図書館内の環境整備。広報活動の充実。委員会活動の活発化。
環境衛生部	生徒の心身の健康問題の早期発見・早期対応	生徒が親しみやすい本の選定。読書週間を設ける。
		検診で指摘を受けた生徒への年4回の受診勧告と顧問への勧告を行い、各科目標受診率を達成する。感染症り患者が出た場合、早期に全職員へ周知徹底し、生活習慣を見直させる指導を促し、感染拡大防止措置をとる。
	健康啓発活動の充実	セルフメディケーションを意識した保健指導を行い、生徒の健康意識と自己責任能力を高める。
	学習環境の整備	教師生徒による全校清掃の徹底と、校内巡視による校内美化の注意喚起
渉外部	教職員、会員相互の連携を図り、より良い活動を展開する	資源の再利用
		ごみの分別の徹底と、資源の有効活用を行う。
	中信地区私学助成推進協議会の活動を展開	防災意識の定着
		年2回の防災訓練の実施。
安全管理委員会・個人情報管理委員会	学校内の安全を維持し、災害やトラブルを未然に防止するための諸活動を行う	学級・学年PTA活動の充実
		地区PTA活動の充実
	校内の教育活動において各教職員が「個人情報の保護に関する法律」ならびに「長野県個人情報保護条例」など関係法令を遵守する環境を整備する。	委員会活動の推進
		研修機会の充実
学校衛生委員会	健康課題の把握・対策	総会・役員会・PTA研修旅行の参加者を増やす
		陳情活動の充実。ならびに助成水準の現状維持を図る
広報企画委員会	生徒募集ならびに本校の良さのアピールに有効な広報の手段(媒体と内容)を考え、それを連動させた年間計画を立て、予算の範囲で効果的な広報活動を行う。	PTA、ピーターパンなど他団体との協力を図る
		イベントを組むなど総会を有意義なものとして参加者を増やす工夫をする
部活動後援会	部活動の効率的な助成 部活動活性化の予算配分	先生方の協力を仰ぐ
		役員会の開催
将来構想・少子化対策委員会	将来構想 少子化対策	あらゆる災害やトラブルを想定したマニュアルの点検と浸透のための諸活動を行う
		教職員側の教育活動における人道的観点の維持と浸透を保つ諸活動を行う
学力向上・新テスト担当委員会	生徒の「基礎学力」と「思考力」を向上させる仕組を構築するための諸活動を、各科コースと各教科の両方に横断的に働きかけながら行う。 やがて導入される「新テスト」について研究し、その対策としての諸活動を行う	「個人情報」の取扱ならびに管理方針(プライバシーポリシー)の点検と浸透のための諸活動を行う。
		上記の「管理方針」とは別に設けている「日常的教育活動におけるガイドライン」に沿って教職活動が行われているか確認をする。
部活動後援会	部活動の効率的な助成 部活動活性化の予算配分	情報交換会を開催し、専門の立場からの助言をもとに対策をたてる。
		冊子類(スクールガイド)・新聞広告・チラシの作成、ならびに、それらが進路講話や学校説明会などと連動した構成になるように組み立てていく。
部活動後援会	部活動の効率的な助成 部活動活性化の予算配分	各部の実績や部員数を勘案し、補助金を適正に配分する。
		部活動活性化へ予算配分を適正に検討する。
将来構想・少子化対策委員会	将来構想 少子化対策	60周年へ向けての準備委員会の立ち上げ
		在校生に還元する投資を考え、広報活動につなげていく
学力向上・新テスト担当委員会	生徒の「基礎学力」と「思考力」を向上させる仕組を構築するための諸活動を、各科コースと各教科の両方に横断的に働きかけながら行う。 やがて導入される「新テスト」について研究し、その対策としての諸活動を行う	その諸活動の成果として進学実績が伸びるよう、進路指導部と教務部と連携し、各教科との対策案をまとめ、実行する。
		情報の収集と分析に努め、職員の研修会を行い共有する。その上で、進路指導部と教務部と連携し、各教科との対策案をまとめ、実行する。

2017年度学校教育計画表

部署	重点目標(計画)	具体的方策(計画)
国語科	学習を総合的に進め、思考力をのばし言語感覚をみがき心情を豊かにし言語文化に対する関心を深める。	漢字検定全校受験 小論模試などを活用し、入試に必要なスキルを身につける テキストの音読、読解などを通じ、読む力、書く力、話す力を総合的に学習 一般・推薦・AO入試等に対応できるように、個々に応じた指導を行う
		授業内の指導を最重要とし、生徒に興味・関心を持たせるような指導の向上を図っていく 各科目の教育目標を達成できるように、すべての生徒へのきめ細やかな教科指導を意識する 思考力・判断力・表現力を育成するよう、授業やテストを工夫する
地歴公民科	教科指導の充実	授業等を通して、主権者としての意識を高める
	主権者としての自覚向上	補習や教材を充実させることにより事前指導を徹底して行い合格者を増やす。
数学科	数学検定の実施回数を増やし、生徒の数学への興味関心を高める。	授業以外でも寺子屋の実施など生徒個々の到達度に合わせた指導を行い、模試など学外の試験を積極的に利用する。一斉テストを行い有効利用することで学力向上を図る。
	各科・コースの特徴を活かした授業内容を実践し、生徒それぞれの学力向上を目指す。	全科・コースで、教科書内容を一通りしっかりと学ぶことにより、高校生として学ぶべき必要最低限の知識・技能を身につける。 実験や教材等を効果的に活用したり、身近に感じやすい現象を説明したり、印象に残るような授業展開から、自然科学に対する理解度を深める。 問題演習、小テストを通しての基礎学力の定着を図りながら、科学的な思考力・応用力を付けることにより、学力の向上を測る。
理科	理科の基礎学力の定着と、発展的な内容にも対応可能な科学的応用力の向上。	スポーツテスト実施による体力把握 バレー・バスケットによる集団スポーツでの体力とコミュニケーション能力の育成 柔道では「心・技・体」の重要性・認識の育成 「心と身体のバランス」の重要性についての育成 青春期の「性」に対する考え方の育成 現代の「少子高齢化」「社会保障」等の諸問題の育成 プロジェクターやPC等を使いグループ学習を取り入れる。
		生徒の学力レベルに合った習熟度別講座の展開 小テストなどを取り入れた基礎内容の定着 定着させた基礎内容を応用した問題解決能力の育成 高等学校基礎学力テストを視野に入れた、教科書を最大限活用する4技能を意識した授業展開 長期休暇の各講座に適した課題提示と課題内容理解度の確認 ALTとの連携により、生徒の表現する力を補強しながら、自ら発信する力の育成 センター・二次対策・私大入試に向けた問題演習と個人指導 サテライト教材の活用 英検の受験促進および二次試験面接指導 大きく変革していく大学入試を見据え、4技能の向上を目指す授業方法の研究と実践例の共有
保健体育科	体力向上・コミュニケーション能力育成のために・・・	センター・二次対策・私大入試に向けた問題演習と個人指導
	心と身体の育成のために・・・	サテライト教材の活用
	保健授業でのアクティブラーニングの導入	英検の受験促進および二次試験面接指導
外国語科	基礎学力の充実	大きく変革していく大学入試を見据え、4技能の向上を目指す授業方法の研究と実践例の共有
	進路実現のサポート	1人1人の個性を尊重し、自立した表現を目指す
	教科会として教授法の研究	
芸術科	情操教育の充実と集中力の育成	
家庭科 (専門教科)	実習を通してより高度な技能の習得を図る	3年まとめの実習・発表の実施 総合調理実習の構築
	座学と実習、各専門教科を関連付けて学ぶ 課題研究の充実	実験などを取り入れながら、より体験的な学習を行う 調理の技術だけでなくマナーやサービスについても学ぶ 各学年での目標を明確にする。また、食物科の生徒として、食をめぐる社会状況への興味関心を深めさせる
家庭科 (一般教科)	生活者として自立するための知識や技術の習得	衣・食・住に関する実習の充実やグループ学習を通して、知識のみならず体験的な学習も行っていく 「自立する」「共に生きる」をテーマに、社会問題についても啓発していく
	子どもの発達の特徴を理解し、子どもとの関わり方を学ぶ	乳幼児の発達と生活についての知識を習得し、絵本や折り紙などの教材を用いながら実践的な学習を行う
情報科	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる	情報化の進展が社会に及ぼす影響や個人の責任などの面から情報社会の特性や在り方を考えさせ、情報通信ネットワーク上のルールやマナー、情報の安全性などに関する基礎的な知識や技能を習得させる。(情報モラル)
	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現する	情報とメディアの特徴、情報のデジタル化の仕組み、情報手段の基本的な仕組みなどについて理解させる。(文章処理、表計算)
	コミュニケーションを行う能力を養い	コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けながら理解させるとともに、情報通信ネットワークの特性を踏まえ、情報の受発信時に配慮すべき事項などについて理解させる。(プレゼンテーション)
美術工芸科	美術工芸を通して生徒1人1人の成長を目指す	それぞれの分野において徹底した基礎力・知識を身につける 集中力・持続力・体力の向上を図る 探究心・向上心をもって制作する姿勢を身につける 幅広い視野を持ち自己表現していく姿勢を身につける